



「すくすくクラブ」で毎回出されるおやつは、「食生活改善推進委員会」の方たちがボランティアで手作りしています。「今日は何のおやつかな?」と子どもたちは毎回楽しみにしています。

## 次世代を育む

未来へ  
つながる  
村づくり

EPISODE  
3



# 「子育て支援事業」

## 就学前の親子を支援する「すくすくクラブ」

本村の近年の出生率(5.9)は福島県の平均(7.0)よりやや低く、高齢者数は増加傾向にあるため、このままでは少子高齢化は進行していくものと思われま

す。そこで平成22年(2010)3月に「玉川村次世代育成支援行動計画」を策定。住民が安心して子どもを産み、育てることができるよう、緊急時の子ども預かり事業や延長保育、乳幼児相談会や放課後児童クラブ、ボランティアによる子ども見守り隊や読み聞かせの会など、住民と一緒にさまざまな子育て支援事業を展開しています。中でも孤立しがちな就学前の子ど

もを持つ親御さんたちに好評なのが、玉川村保健センターで月に1回(約2時間/自由参加)行われている「すくすくクラブ」です。

この事業は0歳から就学前の子どもを持つ親子が互いに交流することを目的に、親子遊びや水遊び、クリスマス会などのメインプログラムの他、親子で自由に遊ぶフリータイムやおやつタイム、保健師や管理栄養士による子育て相談なども随時行っています。

撮影に伺った日は読み聞かせボランティアによるわらべ歌遊びが披露され、親子で楽しいひとときを過ごしました。





## 元気いっぱい「わくわくらんどたまかわ」

平成23年(2011)3月に発生した東日本大震災と原発事故は、福島県に甚大な被害をもたらしました。

中でも本村では、原発事故による放射能汚染は居住制限地域には指定されなかったものの、健康への不安が危惧され、除染作業が早急の課題になりました。

現在は除染作業が進んでいるので、年間被ばく線量もほとんどの地域で1mSv以下(健康被害はないと言われる基準値)で推移し、日常を取り戻しつつあります。

しかし、放射線による健康被害は未解明な部分が多く、事故当初は子どもの外遊びを控える親御さんの姿が見受けられました。



この日は「すがま幼稚園」の子どもたちが保育士さんと一緒に「わくわくらんどたまかわ」に遊びに来ていました。遊具を使って飛び跳ねたり、おもちゃで遊んだり。この施設は村外の子どもと保護者にも有料(1人100円)で開放しています。

そこで外遊びができないぶん、室内遊具を使って元気いっぱい体を動かしてもらおうと、平成24年(2012)10月に福島空港ターミナルビル内にオープンしたのが「わくわくらんどたまかわ」です。

この施設は「福島県安心子ども基金特別対策事業」の補助金を受け、本村が設置し、福島空港ビル(株)に業務委託したもので、村内に居住する0歳から小学2年までの子どもと保護者であれば無料で利用できます。

子どもたちの元気な姿は村の宝です。この子どもたちが健やかに育つよう、これからも官民一体となって子育て支援に全力で取り組んでいきます。

## 《つながる想い》



「すくすくクラブ」に参加していた  
 双里 美智子さん 和香那ちゃん(次女)

長女が生まれたときから参加しているのですが、知り合いもない玉川に越して来たばかりだったので「すくすくクラブ」があって助かりました。悩みを相談できるママ友もできるし、同年代の子と遊ばせる機会にもなるし。毎回楽しみにしています。

読み聞かせボランティアの会  
 「おはなしクックちゃん」  
 会長 鈴木 和子さん 添田 幸子さん  
 (写真右) (写真左)

平成16年(2004)の設立以来、幼稚園やクックちゃん文庫などで読み聞かせを行っています。現在、会員は15人。みんな子育てを終えた世代なので、子どもたちや若いお母さんたちから毎回、元気をもらっています。少しでも子育てのお役に立てたら嬉しいです。







四季

の

四

季

t a m a k a w a v i l l a g e

四季折々に表情を変える豊かな自然  
季節の移ろいを愛で、自然の恵みに感謝



南須釜の念仏踊り

毎年行われる南須釜地区の伝統行事。



金毘羅桜

中地区にある太さ4m50cm、高さ13mの紅しだれ桜。

金 毘羅桜の蕾が赤みをおびる頃、玉川の春は足早にやってきました。入学式を前に少し緊張きみの旗持ち登校の子どもたち。地域の人々に見守られ、希望に満ちた学校生活をスタートさせます。

「玉川村の春」

東 野の清流が青葉に覆われる頃、玉川の夏は一気にやってきます。鮮やかな衣装を身にまとい、神妙な面持ちで舞う少女たち。蝉時雨が降り注ぐ中、念仏踊りの笛や鉦の音が境内に響き渡ります。

「玉川村の夏」



東野の清流

「ふくしまの音30景」にも選ばれている四辻新田地区の清流。



旗持ち登校 | 入学式の朝に行われる川辺地区の伝統行事。





# 玉川村

f o u r s e a s o n s

## 「玉川村の秋」

### 稲

穂が黄金色に染まる頃、玉川の秋はゆっくりやってきました。豊作への感謝と祈りを込めた伝統の舞い。厳かに、ときに華やかに響く笛や太鼓の音。里の秋はその余韻とともに深まっていきます。



平鍬踊り

毎年10月の第1又は第2日曜日に小高・南須釜・北須釜・山小屋の4地区で行われる伝統行事。



やっちゃ小屋

毎年、1月11日に山小屋地区、1月14日に南須釜地区で行われる小正月の伝統行事。



乙字ケ滝

「日本の滝100選」にも選ばれている松尾芭蕉ゆかりの滝。

## 「玉川村の冬」

### 乙

字ケ滝に木枯らしが吹く頃、玉川の冬は静かにやって来ます。年が明け、正月行事を締めくくるやっちゃ小屋。人々のはしめ縄や門松とともに火を放ち、一年の無病息災と五穀豊穡を祈ります。



三匹獅子舞

毎年10月の第1日曜日に南須釜・北須釜の2地区で行われる伝統行事。



浦安の舞

毎年10月の第1又は第2日曜日に小高、10月3日に川辺の2地区で行われる伝統行事。